

第2次南房総市総合計画 後期基本計画（各論）進捗管理表（令和7年度事業分）

資料2

章		指標数	☆目標達成	○目標を概ね達成	△目標に届かず	－実績数値なし
第1章	優しく安心して暮らせる南房総 保健・医療・福祉	9	3	3	3	0
第2章	活力ある地域産業の南房総 産業・雇用	10	4	1	3	2
第3章	豊かな学びと文化の南房総 教育・文化・スポーツ	6	1	3	2	0
第4章	安全で快適な南房総 生活・自然	7	3	1	3	0
第5章	地域がつながる便利な南房総 道路・交通	2	0	2	0	0
第6章	市民が創る南房総 移住促進・市民参加・行財政	5	2	2	1	0
	計	39	13	12	12	2

（ 参考：R6 11 11 14 3 ）

（ 参考：R5 6 13 18 2 ）

第1章 優しく安心して暮らせる南房総（保健・医療・福祉）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
1-1 保健・医療体制の充実	健康寿命の延伸	・総合検診、特定保健指導の実施 ・各種がん検診の実施 ・健康教育・健康相談 ・健康ポイント事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施 ・第2期健康づくり推進計画策定 ・がん患者QOL向上事業	男 77.9歳 女 82.9歳	男 79.3歳 女 83.3歳	男 79.4歳 女 84.2歳	男 78.4歳 女 84.1歳	男 78.3歳 女 82.9歳	☆目標を達成	・市民の健康づくりへの意識の醸成 ・検診受診率の向上 ・健診未受診者等、健康状態不明者への対策	拡充	健康推進課
	1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診児の状況把握率	1歳6か月児健診の未受診者は8人で、うち1人は地区担当が何度も架電するも把握ができなかった。（87.5%） 3歳児健診は把握率100%だった。	100%	100%	100%	1歳6か月児：87.5% 3歳児：100%	100%	○目標を概ね達成	欠席者には受診勧奨を行い、健診への来所を呼び掛ける。未受診者については、把握率100%となるよう、保育所迎え時などに出向き、把握できるよう努める。	継続	子ども教育課
1-2 高齢者福祉の充実	65歳以上に占める要介護（要支援）認定率	リエイブルメント事業のモデル実施に引き続き取り組むことができた。また、年間約120回の審査会により、3,000件程度の認定を実施。認定調査時にタブレットを活用する等、速やかな認定を進めることができた。	20.3%	20.5%	20.9%	21.4%	22.0%	○目標を概ね達成	リエイブルメント事業を本格実施し、参加する高齢者の増加を図る。同時に運動機能向上・栄養改善等の介護予防に繋がる取組を実施し、認定率の上昇を抑えることが必要。また、高齢化進行に伴う要介護認定者の増加に対応するため、認定環境の整備と在宅福祉サービスの基盤整備が課題。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの参加者数（延べ）	定期的なサロンの開催。既存団体の活動支援のため、お達者サロン補助金の拡充を行った。新規開設のお達者サロン（兼認知症カフェ）1箇所あり、立ち上げ支援を行った。	1,426人	3,304人	3,517人	3,963人	8,500人	△目標に届かず	交通手段がなく来所困難な方への対応、担い手の不足が課題。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの設置数	健康推進課、社会福祉協議会と連携し、健康づくり・フレイル予防に関する体操、講話を行った。	22箇所	20箇所	20箇所	21箇所	25箇所	△目標に届かず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。既存のサロンの存続のため支援が必要。	継続	高齢者支援課
	認知症カフェの設置数	既存のカフェへの支援、通いの場確保を目的にお達者サロン補助金への統合、拡充を行った。認知症カフェのチームオレンジ南房総への参画	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	5箇所	△目標に届かず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。既存カフェ存続のための支援が必要。既存のカフェは、外房地区のため、内房地区への拡充が課題。	継続	高齢者支援課
1-3 障害者福祉の充実	グループホームの利用者数	共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行った。	110人	133人	145人	145人	120人	☆目標を達成	障害者が重度化・高齢化する中、地域での生活をできる限り継続できるよう重度障害者の受入体制の整備が課題になっている。	継続	社会福祉課
	就労移行支援事業利用者数	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行った。	11人	8人	8人	16人	15人	☆目標を達成	雇い入れ支援のみならず、長期にわたる職場定着支援をどう行っているかが課題になっている。	継続	社会福祉課
1-4 地域福祉の充実	避難行動要支援者名簿を活用した団体数	避難行動要支援者名簿を配布し、活用について依頼した。	128団体	128団体	129団体	129団体	130団体	○目標を概ね達成	無し	継続	社会福祉課

第2章 活力ある地域産業の南房総（産業・雇用）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
2-1 農林業の 振興	認定農業者の平均所得	県や農協等関係機関と協力連携し、栽培技術の向上やコスト削減の指導、補助事業の周知等を行った。	2,406千円	—	—	—	5,500千円	—	地域紛争、貿易規制等を起因とした物価高騰による資材、飼料等の購入費用の増加及び省力化に向けた取り組みが課題となっている。 【令和7年度実績値・進捗状況】 認定農業者は、5年毎の更新となり、現状値（2021）と目標値（2027）の間の年度実績に繋がりはなため、実績不明とした。又目標値（2027）時点においても目標値を達成できたか市では把握できない。	継続	農林水産課
	新規就農者数	農業者の確保と育成のため、研修者や研修機関への支援を行った。また農業総合相談窓口の設置により就農相談に対応した。	11人	12人	17人	20人	14人	☆目標を達成	補助金交付終了後のフォローアップによる営農継続支援、就農者の離農抑制。	継続	地域資源再生課
	農業産出額	産地生産基盤パワーアップ事業や「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業等の国・県及び市の補助事業を活用した。	100億円	102億円	103億円	126億円	100億円	☆目標を達成	農業者の高齢化と減少が進む中、持続的発展のため、後継者や新規就農者等の人材育成が課題となっている。農地が中山間地域のため、大規模化や集約化が課題となっている。	継続	農林水産課
	有害鳥獣による被害金額	広域的な防護柵の設置、狩猟免許取得支援や捕獲従事者の育成	12,142千円	19,945千円	14,734千円	14,682千円	10,000千円	△目標に届かず	捕獲従事者は高齢化しており、今後、捕獲業務に支障が出ると予想される。	継続	農林水産課
2-2 水産業の 振興	水産物水揚げ金額	稚貝稚魚の放流、収益向上型輪採漁場整備促進、藻場再生・回復活動の促進	17億円	22億円	21億円	21億円	15億円	☆目標を達成	漁業就業者の後継者不足により、アワビの輪採漁場の維持に苦慮することが予想される。	継続	農林水産課
	新規漁業就業者数	漁業研修生として、地域おこし協力隊を募集したが、採用に至らなかった。	6人	2人	0人	0人	6人	△目標に届かず	漁業者の後継者不足が深刻で漁業協同組合自体の経営地盤が傾くことが予想される。	継続	農林水産課
2-3 観光の振興	温泉宿泊客数	市内宿泊事業者とのキャンペーンや、南房総市観光大使とコラボした集客イベントの実施などで南房総温泉をPRした。	27.2万人 (2018)	36.0万人	37.4万人	40.8万人	34.0万人	☆目標を達成	目標の達成に伴って配湯先の事業者が増加している。安定した配湯事業の継続が課題。	継続	観光プロモーション課
2-4 商工業の 振興	高校生地元企業就職率	ハローワークや各高校の進路担当と連携をとり地元企業への就職を促すよう依頼した。	35%	35.9%	47.0%	35.8%	40%	△目標に届かず	少子化による就職者が減少することが課題である。	継続	商工課
	市内製造品出荷額等	商工会等関係団体と連携を取り、各種補助金等を周知した。	13,032百万円	—	—	—	13,032百万円	—	少子高齢化により市内製造業の事業縮小や廃業等で出荷額が減る傾向があること。	継続	商工課
2-5 新たな産業の振興	新たな仕事と雇用創出支援事業補助金活用による創業者数（累計）	市内で新規事業及び起業、市内進出する企業に対して、事業に係る経費の一部を支援した。	36人	45人	48人	49人	56人	○目標を概ね達成	今後、制度の仕組みをよく理解してもらい、より多くの方に利用を促すため、広報を強化する。	継続	商工課

第3章 豊かな学びと文化の南房総（教育・文化・スポーツ）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
3-1 教育内容 の充実	学校外教育サービス利用者率	・助成券を利用できる学習塾等を11教室追加し、助成券利用機会の拡大に取り組んだ。 ・1月の校長会議で主任指導主事が各学校の校長に対し事業説明を行い、事業利用者の拡大に努めた。	86.3% (71.5%から修正)	75%	78%	80%	85% (75%から修正)	△目標に届かず	・助成券を利用できる参画事業者を増やすため、市内外の学習塾やスポーツ教室の事業者へも広く周知及び事業への参画を交渉していく必要がある。 ・利用率増加による事務負担に対応できるようにする必要がある。	継続	子ども教育課
3-2 子育て支 援の充実	子育てしやすいまちだと思 う割合	・国の制度の活用やライフスタイルの変化に合わせ、多様な働き方を支援し、家族との時間を大切に、仕事と育児を両立できる環境づくりを促進するため、令和6年4月分から保育料を引き下げる取り組みをした。 ・令和7年度から、育児のために時短勤務を選択し、収入が減少した保護者に対して給付金を支給する、南房総市時短勤務育児支援給付金事業を実施した。	53%	55.4%	55.4%	55.4%	70%	△目標に届かず	各事業で様々な取り組みは行われているので、市内外に十分な周知をしていくことが課題である。	継続	子ども教育課
3-3 学校教育 施設の整 備充実	小・中学校の照明LED化改修 率	計画的な大規模改修や学校再編について検討・協議を進めながら照明LED化に取り組んでいる。	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 54.6% 中学校 57.1%	小学校 54.6% 中学校 66.9%	小学校 100% 中学校 100%	○目標を概ね 達成	学校再編の検討状況を確認しながら施設環境を整える必要がある。	継続	学校再編整備 課
3-4 生涯学習 の推進	公民館定期利用サークル数 (文化協会加入サークル含 む)	市全体及び各支部全ての文化祭を実施。会員の高齢化により会員数の減少はあるが、既存サークル、会員の相違工夫により市民活動の継続性が保たれている。また、公民館講座から新たなサークルも結成された。	236団体	228団体	225団体	221団体	236団体	○目標を概ね 達成	市全体及び各支部全ての文化祭を実施できた。会員の高齢化により会員数の減少はあるが、既存サークル、会員の相違工夫により市民活動の継続性が保たれている。また、公民館講座から新たなサークルも結成された。	継続	生涯学習課
3-5 文化振興 と地域文 化の継承	文化財保護団体等数	市内の文化財保護団体の活動に対し補助金の支給や、相談を行い団体が活動継続できるよう支援した。	12団体	12団体	12団体	12団体	12団体	○目標を概ね 達成	文化財保護団体の活動母体である市内各地域の少子高齢化により、団体の活動自体が困難になりつつある。	継続	生涯学習課
3-6 スポー ツ・レク リエー ション活 動の推進	スポーツ施設の利用者数	スポーツ協会やスポーツ少年団、各種スポーツ大会の活動費を支援しスポーツ・レクリエーション活動の推進を図った。また、スポーツ施設の適正な維持管理、環境整備に努めた。	130,881人	175,204人	142,225人	207,653人	200,000人	☆目標を達成	少子・高齢化により、スポーツ少年団、スポーツ協会の活動が困難になりつつある。	継続	生涯学習課

第4章 安全で快適な南房総（生活・自然）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
4-1 交通安全・防犯 対策の推進	交通事故発生件数	交通安全に関する広報、啓発を実施。また、交通指導員による指導等を実施。	92件	45件	53件	51件	76件	☆目標を達成	市民一人ひとりの交通安全に対する意識を高揚させることが必要である。	継続	消防防災課
4-2 防災・消防・救急 対策の充実	自主防災組織による避難訓練実施地区数	行政連絡協議会開催時に自主防災組織の補助金説明を行い、自主防災組織に関する意識の高揚を図った。	69地区	62地区	99地区	103地区	117地区	△目標に届かず	規約等が未策定となっている行政区（自主防災組織）に対し、施策の重要性を説明するとともに規約策定に向けてサポートしていく。	継続	消防防災課
4-3 自然環境の保全と 共生	1人1日当たりのごみ排出量	生ごみ処理機購入補助やごみの出し方の啓発を通してごみ減量化を図った。	1,105g /人・日	1,113g /人・日	1,141g /人・日	1,176g /人・日	1,078g /人・日	△目標に届かず	R7現在1,176g/人・日であり、ごみ分別による資源化等が更に必要である。	継続	環境保全課
4-4 土地利用・景観 整備	国土調査の実施状況 （国土調査済面積）	千倉町平館及び千倉町忽戸の各一部地区の一筆地調査を実施	106.47km ²	0.23km ²	0.91km ²	0.59km ²	108.47km ²	☆目標を達成	未相続土地において相続関係人が多数となり、現地立会依頼等に苦慮している。	継続	建設課
4-5 住環境の 整備	新築住宅取得者に対する支援 件数（5年間累計）	一定の要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付	134件	13件	29件	17件	140件	☆目標を達成	新築住宅が減少傾向であるとともに、安房郡市外からの転入者に対する奨励金の交付が減少傾向である。	継続	建設課
4-6 上水道の 整備	既設石綿セメント管の改修率 （市内の上水道に使用されている石綿セメント管の改修率）	配給水施設耐震化事業として2工区、約0.85kmの石綿セメント管の更新を実施。	57.8%	60.79%	62.64%	64.49%	75.6%	○目標を概ね達成	市内の上水道施設全般で老朽化が進んでおり、石綿セメント管以外の更新需要も高まる中、資材、人件費等の高騰により更新費用が増大しており、更新の優先度、財源の確保が課題となる。	継続	安房広域
4-7 廃棄物対策の推進	汚水処理人口普及率	合併処理浄化槽転換補助により汚水処理を推進した。	48.40%	50.25%	53.23%	56.78%	60.07%	△目標に届かず	R7現在56.78%%であり、今後も合併処理浄化槽への転換を推進する必要がある。	継続	環境保全課

第5章 地域がつながる便利な南房総（道路・交通）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
5-1 道路の整備	舗装修繕計画の実施率	2路線、2,182㎡（計画の3.0％）の修繕工事を実施	16%	20%	23%	26%	21%	○目標を概ね達成	起債により実施しているが当該事業が令和8年度で終了する予定であり、その後の財源の検討が必要。	継続	建設課
5-2 公共交通の機能強化	市内を運行する路線バスの1日当たりの平均利用者数	・利用しやすい環境づくりとして路線バス事業者によりキャッシュレス決済が導入された。また、市営路線バスにおいてもQRコード決済を導入した。 ・チョイソコ南房総・館山のシステムを他の路線・地域でも検証を行った。 ・第2期南房総・館山地域公共交通計画を作成した。	750人	846人	756人	812人	750人	○目標を概ね達成	人口減少・少子高齢化やマイカー依存等に伴い、全体的な実績としては減少傾向である。市営路線バス2路線については登山客・観光客利用があり、増加傾向であったが、各路線とも、地元住民（特に公共交通の利用がない又は少ない）の利用促進を図る必要がある。このほか、路線バスやそれに代わる移動手段の維持・確保が課題となっている。	継続	企画政策課

第6章 市民が創る南房総（移住促進・市民参加・行財政）

施策	指標	令和7年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
6-1 協働のま ちづくり の推進	NPO・自主的まちづくり活 動団体の数（市内で活動して いるNPOや自主的まちづく り活動団体の数）	まちづくりチャレンジ事業を実施 し、9団体が採択され、各団体が 市内で事業展開した。	76団体	82団体	87団体	90団体	84団体	☆目標を達成	まちづくりチャレンジ事業に参加した活動団 体が補助事業の終了後に継続して活動してい けるように支援することが難しい。	継続	市民課
6-2 移住・交 流の促進	空き家バンクを利用した市外 からの転入者数（累計）	住環境整備として物件登録10 件。改修工事が必要な空き家には 空き家利用促進奨励金による改修 工事2件	90人	152人 (累計)	202人 (累計)	212人 (累計)	135人	☆目標を達成	空き家の掘り起こしのための啓発。空き家対 策セミナーと空き家相談会を継続する。	継続	建設課
	人口の社会増減（5年間平 均）	相談窓口の充実、移住・定住情報 サイトの機能強化及び館山市との 連携強化（定住自立圏構想）	△40.2人 (2017～ 2021)	△138人	△24人	38人	△30.0人	○目標を概ね 達成	居住物件（特に子育て世帯向け賃貸物件）の 不足	拡充	企画政策課
6-3 男女共同 参画社会 の形成	男女が平等になっていると感 じる人の割合	第4次南房総市男女共同参画推進 計画に基づき、男性の家事・育児 への参加セミナーを開催した。 アンケート調査は、5年に1回の ためR7実績値はなし。	16.2%	18.80%	—	—	20.0%	○目標を概ね 達成	引き続き、男性向けのセミナーを開催するな ど、男性の家事・育児参加率の向上に努めた る。	継続	市民課
6-4 効率的・ 効果的な 行財政運 営の推進	公有財産の建築物延べ床面積	・令和8年度当初予算は骨格予算 として編成されたため、公共施設 等総合管理計画（個別計画）は令 和8年7月に改定を予定している。 そのため、令和7年度中に計画内 容の精査・更新を行った。 ・忍戸小跡地への千倉複合施設建 設工事、ごみ処理広域化に伴う可 燃ごみ中継施設建設工事、平群小 跡地を活用した公園整備工事、有 害鳥獣処理施設建設工事、とみう ら「枇杷倶楽部」の大規模改修工 事等を実施した。 ・千倉社会福祉センター、千倉衛 生センターの解体撤去を行った。	215,459㎡	206,169㎡	202,844㎡	206,438㎡	200,300㎡	△目標に届か ず	・資材費及び労務単価の高騰により、今後実 施を予定している公共施設の再編整備に係る 各種工事や廃止施設の跡地を活用した公園整 備等に係る工事請負費の増加が懸念される。 ・基本的には再編後の新施設完成後に、既存 施設を解体するサイクルであるため、目標値 である建築物延べ床面積が増加する年度があ る。	継続	財政課